

マイクコンプレッサー ユニット

VD-10

¥2,600

SSB方式無線機用

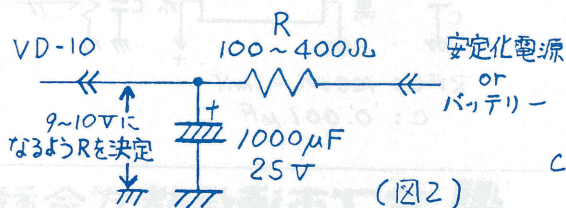
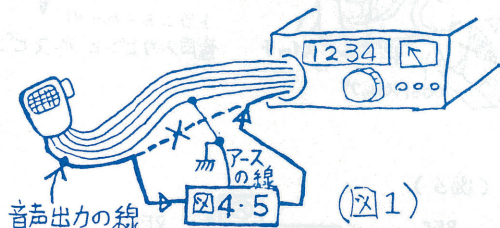
☆音声の強弱を少なくして、平均電力をアップさせます。

☆超小型・低電流（4 mA 以下）モジュールです。

（FM変調方式の無線機には、マイクアンプMA-20Aをお使い下さい。）

定 格

- ①電 源 電 圧 9 V（使用範囲9～12V）
- ②消 費 電 流 4 mA以下
- ③入力インピーダンス 600 Ω
（出力インピーダンス HIGH LOW両用）
- ④入出力特性 本体銘板シール参照
- ⑤アタックタイム 15m sec以内
- ⑥周波数特性 1 KHzのレベル0 dB
100 Hz～10,000 Hz $\pm$ 0.2 dB
- ⑦ひ ず み （2mV rms 入力時）
300～3,000 Hzにて0.4%以内
- ⑧ダイナミック レンジ 40dB 以上



原 理

SSB電波は声の大小に従って送信出力も大小変化します。しかし最大出力10Wの無線機はいくら大声を出しても10W以上出ません。あとはスプラッターという不要電波をまき散らすだけです。VD-10は、この音声の大小変化を少なくし、電波がひずみ出さない範囲で平均電力をあげてやるため、DX通信には大変な威力を発揮します。

接 続

無線機のマイクコードの中には音声の通る線だけでなく、送・受切換や周波数制御など多くの線がたばねられています。VD-10は音声の大小を均一化させるユニットですので、音声の通る線の間に挿入して使用します。図1がその最も基本的な概念図です。

実際には金属ケースに入れて、入口・出口をコネクターにすると良いでしょう。

準 備

まず使用する無線機のマイクコネクターの音声信号ピンとアースピンを取説等より調べます。次に送信状態にしたとき音声信号ピンにDC 2～5 Vぐらいの電圧がかかるか計って下さい。

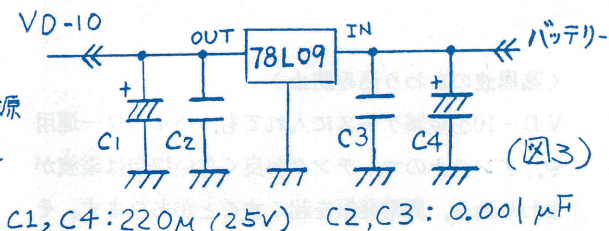
配 線

表1より決定して下さい。安定化電源や車でバッテリーから使う時は図2の回路を入れて下さい。なおバッテリーでは図3にするとよりFBです。

使い方

ボリュームをあげすぎると周囲の音と共にザーというノイズが出て聞き苦しくなります。

またローカルQSOでは自然さという点から、はずした方が感じが良い場合があります。



C1, C4: 220 μ (25V) C2, C3: 0.001 μ F